まちづくり検討会議（ワークショップ）会議録

福光行政センター

件　名	福光地域 第12回まちづくり検討会議		
日　時	平成30年11月6日（火）	場　所	福光庁舎　別館3階ホール
出席者	〔検 討 会 議 委 員〕12名 〔ファシリテーター〕谷内博史、能登貴史		
内容	分科会ごとに提言内容（案）の発表		
詳細	**▽地域との意見交換会、地域審議会との意見交換会に向けて** 各分科会の提言(案)の内容を発表・共有し、改善すべき点等について意見交換を実施 **▽各分科会提言(案)の具体的取り組み内容と指摘事項** **①情報発信** 【具体的取り組み内容】 地域で必要とされている情報を収集発信する中間支援組織(民設民営･公設民営)をつくる →情報受発信ポータルサイト『e-fuku3 ver.2』の立ち上げ・運営 【指摘事項】 ・取り組みに必要な支援・行政に望むこと、地域・自分たちで取り組むこと、取り組みによって解決できる課題についての調整が必要 （例として） ・必要な支援･･･立ち上げにかかる初期費用の支援や施設の賃貸・整備に係る費用、また、どんな団体が行うかの組織を作るための勉強会や視察など ・地域で取り組むこと･･･ハードウェアでなくソフトウェアで地域を盛り上げる、いろいろな情報収集 ・取り組みによって解決できる課題･･･福祉会館(施設)の建て替えありきではなく、機能を残していくために代わりに何ができるか提案してみる（コンサート等の開催を公園で同じようにしてみる など） ※施設には更新時期や耐用年数があること､公共施設再編計画についても留意する必要がある **②施設の活用（ハコモノ活用）** 【具体的取り組み内容】 施設を活用したにぎわいづくり（福光高校廃校(2020年度)までに方向性を決定） ソフト事業(居場所づくり)と連携し交流空間(活動発表の場､民泊･体験施設､ﾊﾞｯﾃｨﾝｸﾞｾﾝﾀｰ等)を創出 【指摘事項】 ・福光高校の跡地利用がメインになってしまっている ・提言の中で福光高校の活用という点に重きを置くことは方向性としてどうか？ ・「点より線＝福祉会館や商店街という点をつないだ線をどうするか、線より面＝線で囲まれたエリアで誰が何をしていくか､今後各団体と話し合いながら進めていくことが大事」という提案ではなく、提言の中身に具体性を持たせて、大胆に提案することが必要では？ 既存施設、路地、川沿いなど、それぞれのエリアで「こういうことをやっていく」というような提案 **③ソフト事業（居場所づくり）** 【具体的取り組み内容】 居場所を作ろう（｢孤独感｣を持たせない｢安心感｣を与える拠点、情報共有で地域の関心を喚起） → 何らかの用事のついでに気軽に立ち寄れて情報も得られる信頼される便利で使い易い場所 【指摘事項】 ・「情報発信」の中間支援組織と同じような提言内容 → 違いはあるが一緒にしたほうが説明しやすい いろいろな意見があることは良いことだが意見交換会や提言発表に向けて絞り込みが必要 **▽分科会ごとに意見交換の内容を踏まえて提言内容見直しのための協議検討** ・まちなか1カ所で情報のやりとりや交流が出来る場所 → 中央図書館を改修し1階に誰もが気軽に集える｢居場所づくり｣（専門書は2階へ移動） ・先進事例「秋津野ガルテン」: 市から市民団体が施設を買い取り「まちづくり」の拠点として活用 **▽地域別意見交換会に向けた提言内容の取りまとめと発表者の選定** 取りまとめ　･･･　①中川委員、中山明委員、②澤田委員、③土倉委員、前田委員 発　表　者　･･･　①中川委員、②澤田委員、③八幡委員		
備考 課題･宿題･ 今後の対応等	11月14日(水)の地域別意見交換会、12月5日(水)の地域審議会委員との意見交換会を前に各分科会で個別に集まり提言内容を取りまとめる。 第15回検討会議：12月10日(月)で最終取りまとめの上、12月19日(水)の全体会議で市長へ提言		